PRESS RELEASE　2024.8.21

鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

開館記念展　アート・オブ・ザ・リアル　時代を超える美術
－若冲からウォーホル、リヒターへ－
展覧会情報 第 **1** 弾

ART OF THE REAL

時代を超える美術

－若冲からウォーホル、リヒターへ－

アンディ・ウォーホル《ブリロ・ボックス》
1968 年、鳥取県立博物館蔵
© 2024 The Andy Warhol Foundation for the Visual Arts, Inc. / Licensed by ARS, New York & JASPAR, Tokyo　G3600

展覧会概要(予定)

展覧会名	アート・オブ・ザ・リアル　時代を超える美術　－若冲からウォーホル、リヒターへ－
会期	**2025** 年 **3** 月 **30** 日(日)～**6** 月 **15** 日(日)　＊途中展示入替有
会場	鳥取県立美術館 企画展示室、コレクションギャラリー1・2 〒682-0816　鳥取県倉吉市駄経寺町2丁目3-12
開館時間	9:00～17:00(入館は16:30まで) ※夜間開館日は5月3日(土)、6月14日(土)であり、20 時までご覧いただけます。
休館日	会期中の4月28日、5月5日以外の月曜日
観覧料	一般 1,600 (1,250)円、学生 1,000 (800)円、高校生 500 (400)円、 小中学生 300 (240)円　＊( )内は前売料金・20 名以上の団体料金
主催	アート・オブ・ザ・リアル展実行委員会

[問合せ] 鳥取県立美術館パートナーズ　広報担当（山口）
Email｜info@tottori-moa.jp　**WEB**｜https://tottori-moa.jp
TEL｜0858-24-5442（平日 9 時～17 時）

鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

鳥取の芸術、世界の芸術
―何がリアルかをめぐる、アートの挑戦の軌跡

鳥取県立美術館の開館記念展として、「アート・オブ・ザ・リアル　時代を超える美術―若冲からウォーホル、リヒターへ」を開催します。

鳥取県立美術館のコレクションの特徴の一つとして、近世鳥取画壇の精密な表現、前田寛治の「写実」、さらには初期の辻晋堂にみられる彫刻的リアリズムなど、表現における「リアル」に対する多様な関心が見受けられます。

本展ではこのようなコレクションの特性を背景として、多くの美術家たちにとっても普遍的なテーマとしてとらえられてきた、美術において「リアル」とは何かという問いに対する多様な応答を、時代やジャンルを超えて紹介し、鳥取県立美術館の開館展にふさわしい、巨匠や名品との出会いの場を創り出します。

ゲルハルト・リヒター《抽象絵画(648-1)》
1987 年、国立国際美術館蔵
© Gerhard Richter 2024
(26072024)

前田寛治《棟梁の家族》
1928 年、鳥取県立博物館蔵

伊藤若冲《象と鯨図屏風》
18C、MIHO MUSEUM 蔵　上(左隻)・下(右隻)

＊本リリース掲載の画像の二次利用はご遠慮ください。

主な出品作家(第 1 弾)

○ギュスターブ・クールベ(1819-1877)	○伊藤若冲(1716-1800)
○アンリ・マティス(1869-1954)	○曽我蕭白(1730-1781)
○パブロ・ピカソ(1881-1973)	○黒田稲皐(1787-1846)
○マルセル・デュシャン(1887-1968)	○前田寛治(1896-1930)
○アルベルト・ジャコメッティ(1901-1966)	○辻　晋堂(1910-1981)
○アンディ・ウォーホル(1928-1987)	○森村泰昌(1951-)
○ゲルハルト・リヒター(1932-)	○やなぎみわ(1967-)

[問合せ] 鳥取県立美術館パートナーズ　広報担当（山口）
Email｜info@tottori-moa.jp　**WEB**｜https://tottori-moa.jp
TEL｜0858-24-5442（平日 9 時～17 時）

鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

本展の特色

企画展示室

◎鳥取県立美術館の開館を記念する特別展。
◎江戸時代から現代まで、洋の東西を問わず、油彩画、日本画、彫刻、写真と多彩なジャンルの優品約 200 点を紹介。出品作家は 100 名以上を予定。
◎時代を超えた名画の競演。近世鳥取画壇の気品にみちた写実や前田寛治の独自のリアリズムとのコラボレーションにも注目。

「リアル」という言葉にこめた思い

「アート・オブ・ザ・リアル　Art of the Real 」という展覧会のタイトルは1968年にニューヨーク近代美術館で開かれた同時代のアメリカ美術を紹介する展覧会に由来します。しかし本展を訪れるならば、「リアル」とは何かという問いかけが、アメリカの現代美術のみならず、江戸期から現代まで、世界中の美術家たちによって途切れることなく続けられてきたことが理解されるでしょう。

コロナ禍以降、デジタル環境の加速化にともなって、私たちもまた生活の中で「リアル」な手応えを失いつつあるのではないでしょうか。美術の中で「リアル」がいかにとらえられてきたかを検証することは、21世紀に生きる私たちに一つの視座を与えてくれるでしょう。公立美術館としては日本最後発として開館する鳥取県立美術館は、最後発ゆえの問題意識とともに、未来を見据える開かれた美術館として活動を続けていきたいと願っています。

企画者からのメッセージ

鳥取県立美術館 館長　尾﨑信一郎

鳥取県立美術館の開館にあたって、開館記念展の内容については私が中心になって学芸員たちと一緒に考えました。日本各地の美術館や個人所蔵家に協力いただき、単に名品やよく知られた作家を紹介するだけでなく、いくつかのテーマに沿って江戸期から現代まで、そして日本と海外の美術の流れが一望できる多くの作品を展示します。いわゆる現代美術の作品も多く含まれていますが、それはこの美術館のミッションステートメントにあるとおり、訪れた皆さんに主体的に考える機会を提供し、美術をめぐる多様な価値観を知っていただくためです。山陰ではかつてない規模の大展覧会となると思います。どうか御期待下さい。

[問合せ] 鳥取県立美術館パートナーズ　広報担当（山口）
Email｜info@tottori-moa.jp　**WEB**｜https://tottori-moa.jp
TEL｜0858-24-5442（平日 9 時～17 時）